



平成21年12月17日

各 位

会 社 名 株式会社アイロムホールディングス
代 表 者 名 代表取締役社長 三宅 鐵宏
(コード番号 2372 東証第一部)
問 合 せ 先
役 職 取締役 経営企画部担当
氏 名 秀島 直樹
電 話 03-5436-3148

不適切な会計処理について

このたび、当社において、過年度の平成18年3月期決算における不適切な会計処理が行われていた可能性が高いと判断するに至りましたので、今後の当社の対応方針等について、下記の通りお知らせいたします。

当社は、平成18年3月期およびその前後の期を含めた3会計期間に対する調査を行っており、早急に真相究明と不適切な会計処理の金額を確定させ、明らかになり次第速やかに公表いたします。

当社において、このような不適切な会計処理の疑義が発生したことは誠に遺憾であり、また、株主、投資家および取引先の皆様ならびに市場関係者の皆様をはじめ、ステークホルダーの皆様には多大なるご迷惑とご心配をおかけしますことを、深くお詫び申し上げます。

記

1. 不適切な会計処理の疑義が生じた経緯

当社は、平成21年7月より、過年度決算の適正性について疑義が生じたことから、当社グループと利害関係の無い外部の第三者により構成される調査委員会を設置し、当社および当社子会社の過去の会計処理に関して調査を実施しております。

その結果、今般、平成18年3月期決算において、売上の一部に実質の無いものが含まれている疑いなど、不適切な会計処理が行われていた可能性が高いと判断するに至りました。

なお、第三者調査委員会は次のメンバーで構成されており、その主な設置目的は、事実関係の調査、再発防止策の策定および関係者の処分勧告等であります。

委員長	木目田 裕	西村あさひ法律事務所・弁護士
委員	後藤 啓二	後藤コンプライアンス法律事務所・弁護士
委員	小川 真人	ACEコンサルティング株式会社・公認会計士

2. 今期の業績に与える影響について

現時点においては全容解明には至っておりませんので、今期の業績予想および過年度決算数値におよぼす影響額につきましては、金額が判明次第お知らせいたします。

3. 今後の対応について

当社は、今回の事態の発生を真摯に受け止め、第三者調査委員会による厳正かつ徹底した事実関係および原因究明を踏まえた再発防止策を実施する所存です。なお、調査結果および過年度の決算短信等、有価証券報告書等の訂正の要否ならびに時期につきましては、その内容が確定次第、速やかにご報告させていただきます。

以 上